

2026年3月期

決算説明会  
(2026年6月1日)

SHINWA

# Contents

Chapter

01

会社概要

Chapter

02

2026年3月期 決算概要

Chapter


03

2027年3月期 業績見通し

Chapter

04

株主還元



| Chapter 01 |

# 会社概要

---

## 企業概要

# いのちを守り、 未来を支える

私たちグループが提供する製品・サービスは  
全て使い手の命や生活に直結しています。

『安心して使える』という価値提供により  
命と生活を守るのが、私たちの存在意義です。

価値提供の積み重ねにより、  
街が栄え、生活が豊かになり、  
ひいては社会全体が永続していくことが  
私たちの描く未来です。

商号	信和株式会社
本社	岐阜県海津市
代表者	代表取締役 則武 栗夫
創業	1977年9月
資本金	153百万円
従業員数	543名(2026年3月末現在)
証券コード	3447(東証スタンダード、名証プレミア)

### 沿革

1977	信和商店として事業を開始
1978	仮設資材「ジャッキベース」の製造販売を開始
1988	「シンワキャッチャー」を開発、システム足場市場に進出
2003	物流機器部門を設立
2018	東京証券取引所・名古屋証券取引所に株式を上場
2024	大手足場施工会社であるヤグミグループの株式取得
2025	アルミ加工会社である株式会社凰金属工業の株式取得 型枠・土木工事会社である海津建設株式会社の株式取得

# 事業内容

## 仮設資材部門

### ● 事業内容

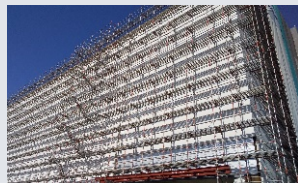
- ・建設現場などで使用される仮設資材の製造・販売・レンタル
- ・仮設資材(主に足場)の施工サービス

### ● 特長

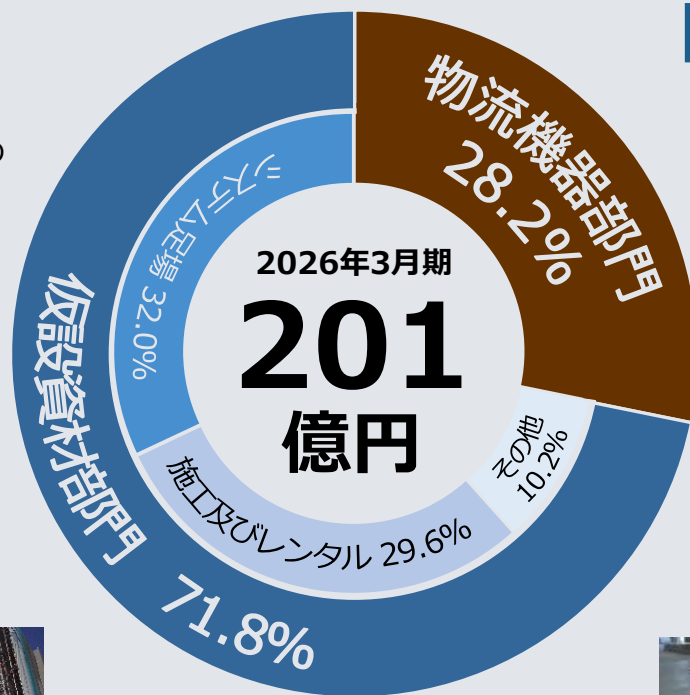
- ・システム足場の**国内シェアNO.1**
- ・**国内自社工場**による**高品質な足場**
- ・低層から超高層建築物まで対応可能



住宅工事



マンション工事



## 物流機器部門

### ● 事業内容

- ・搬送等に使用される物流機器の製造・販売
- ・工場・倉庫・建設現場等での物品の保管用機器の製造・販売

### ● 特長

- ・提案・設計・製造・設置・メンテナンスまで**一貫したサービスを提供**
- ・**幅広い業種**に様々な物流機器製品の**納入実績**



自動車メーカー向けパレット



液体搬送用バルクコンテナケージ



大規模倉庫用ラック

# パーパスに関連した取り組み

## 橋梁用システム吊り足場 (ラピッドフロア)



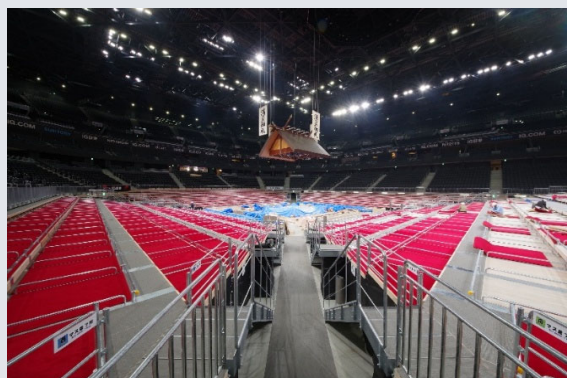
### ①従来吊り足場との比較

従来の吊り足場が抱えていた作業スペースの狭さや強度面の課題に対し、「ラピッドフロア」は、独自構造により安全性と作業効率が大幅に向上。

### ②現場で評価される3つのメリット

広い作業スペースと高い耐荷重性能を両立し、現場では「安全性向上」「作業効率改善」「コスト削減」の3つの効果が評価されている。

## 【技術応用】足場の機能強化 (大相撲名古屋場所)



### ①技術力の応用

建設用足場の技術力を応用し、従来は設営が困難だった複雑な形状の観客席を実現。ミリ単位の精度により、安全性と快適性が大幅に向上。

### ②現場評価が高まる総合的な導入メリット

安全性、設営効率、コスト削減を同時に実現する製品として高く評価。オーダーメイドで複雑な形状にも対応し、長期使用できる信頼性も強みとなっている。

## 軽量化の取り組み (BUDDY SYSTEM)




### ①軽量化による安全性・効率性の向上

新世代の軽量足場は、従来比20%の軽量化により作業効率向上と運搬負荷の軽減を実現。軽量化は安全面にも寄与し、墜落・転落リスクを大幅に低減。

### ②現場評価が高まる総合的な導入メリット

現場での使い勝手や積載効率も向上しており結果として安全性・効率性・コスト削減を同時に実現する足場製品として評価が高まっている。



| Chapter 02 |

**2026年3月期**

---

# 2026年3月期 決算ハイライト

## 売上収益

20,138百万円

前年同期比15.1%増

## 売上総利益

5,433百万円

前年同期比23.0%増

## 営業利益 (※1)

2,488百万円

前年同期比53.4%増

## 四半期利益 (※2)

1,718百万円

前年同期比76.2%増

※1当期はM&Aに伴う取得差益（466百万円）を含む  
※2親会社の所有者に帰属する四半期利益

## 市場環境

- 建設投資は都市再開発やインフラ更新需要を背景に底堅く推移し、全体として緩やかな回復基調が継続。
- 一方で、資材価格の高止まりや人手不足等を背景に住宅市場は弱含みで推移し、先行きは不透明な状況。

## 事業進捗

### 仮設資材部門

- 「所有」から「利用」への需要のシフトを的確に捉え、販売とレンタルを組み合わせた提案を強化。
- 施工機能の強化等により、施工・レンタルを含めた売上収益が堅調に推移。

### 物流機器部門

- 既存製品の性能向上やラインナップ拡充、新製品開発を進め、多様化する顧客ニーズに対応。
- 大型物流倉庫案件や幅広い業界からの継続受注により、売上拡大を牽引。

## 業績

- 売上収益・各段階利益はいずれも上場来最高を更新。
- レンタル・施工領域の拡大に加え、内外製区分の最適化や物流効率化等の収益改善施策が着実に進展し、収益性が継続的に向上。(営業利益率12.4% 前期比+3.1pt)。

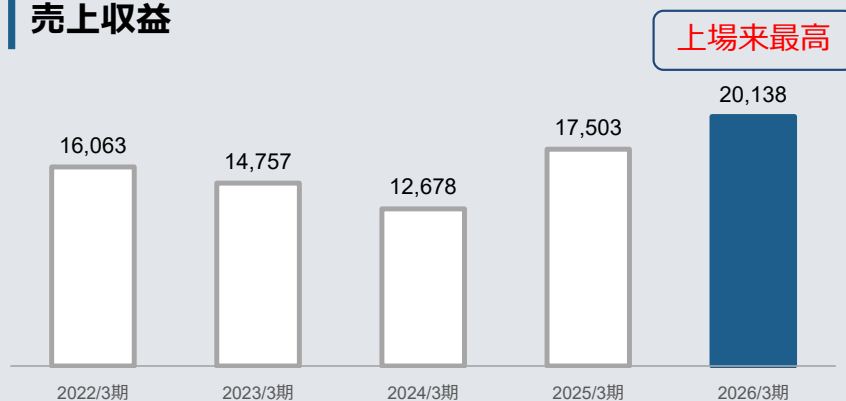
# 2026年3月期 連結業績

(IFRS・百万円)

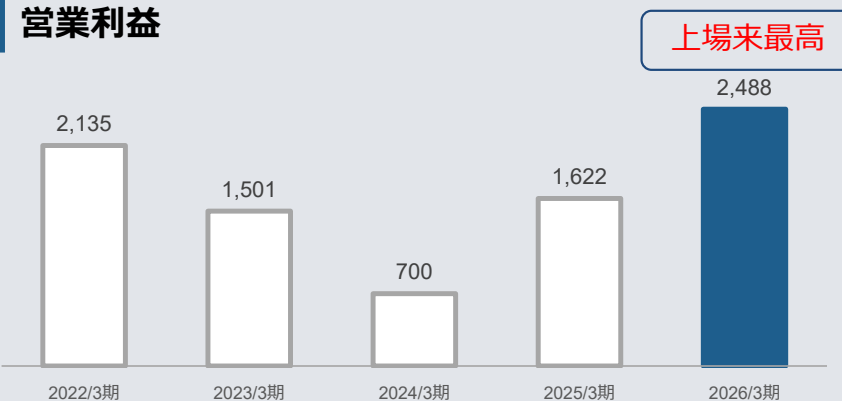
	2024/3月期		2025/3月期		2026/3月期							
	実績	売上比	実績	売上比	計画(※1)		実績		計画比		前期比	
					売上比	増減額(率)	売上比	増減額(率)	増減額(率)	増減額(率)		
売上収益	12,678		17,503		20,000		<b>20,138</b>		+138	+0.7%	+2,635	+15.1%
売上総利益	2,797	22.1%	4,418	25.2%	—	—%	<b>5,433</b>	<b>27.0%</b>	—	—%	+1,015	+23.0%
販管費等	2,097	16.5%	2,796	16.0%	—	—%	<b>2,945</b>	<b>14.6%</b>	—	—%	+149	+5.3%
営業利益	700	5.5%	1,622	9.3%	2,000	10.0%	<b>2,488</b>	<b>12.4%</b>	+488	+24.4%	+865	+53.4%
当期利益(※2)	409	3.2%	975	5.6%	1,246	6.2%	<b>1,718</b>	<b>8.5%</b>	+472	+37.9%	+743	+76.2%

※1 2025年11月6日公表の修正計画  
 ※2 親会社の所有者に帰属する当期利益

## 売上収益



## 営業利益

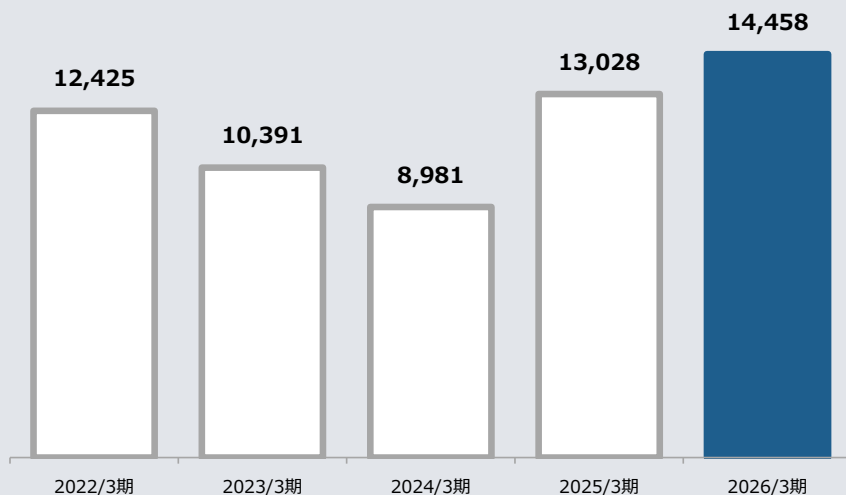


# 部門別の状況 / 仮設資材部門

売上収益14,458百万円。前年同期比11.0%増となった。

## 売上収益の推移

(百万円)



## 当期の状況

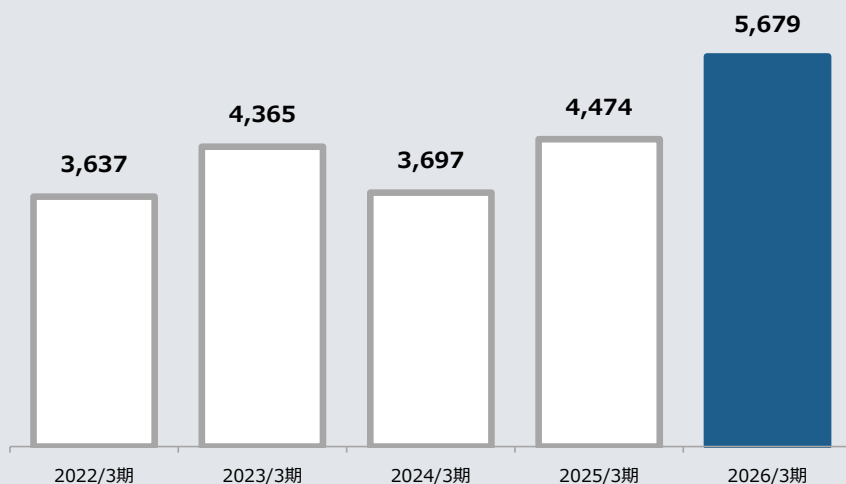
- 仮設資材に対する需要は堅調に推移しているものの、原材料価格の高止まりや製品価格の上昇を背景に、販売からレンタルへのシフトが継続する中、販売についても底堅く推移。
- 販売とレンタルを組み合わせた柔軟な提案営業や重点エリアでの営業活動を強化し、顧客ニーズに応じた対応により需要を着実に取り込み。
- 施工体制の強化等による売上寄与により、施工・レンタルを中心に売上収益が拡大し、全体として堅調に推移。

# 部門別の状況 / 物流機器部門

売上収益5,679百万円。前年同期比26.9%増となった。

## 売上収益の推移

(百万円)



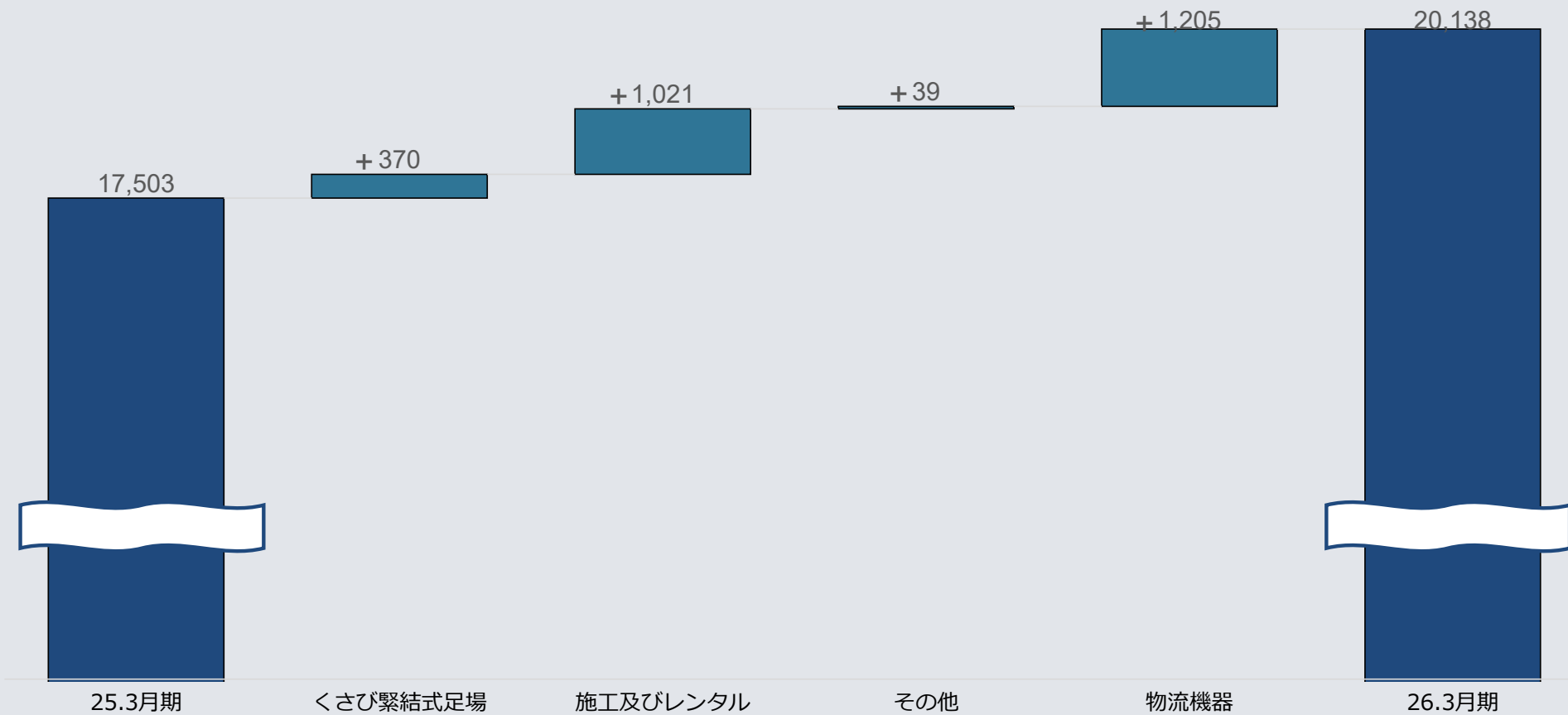
## 当期の状況

- 大型物流倉庫関連案件をはじめとした需要を背景に、受注は引き続き堅調に推移。
- ガラス・土石製品分野や自動倉庫分野など、多様な業界からの継続的な受注により、安定的な案件獲得。
- 特に大型物流倉庫案件が売上拡大に大きく寄与し、部門全体の売上収益は大きく伸長。

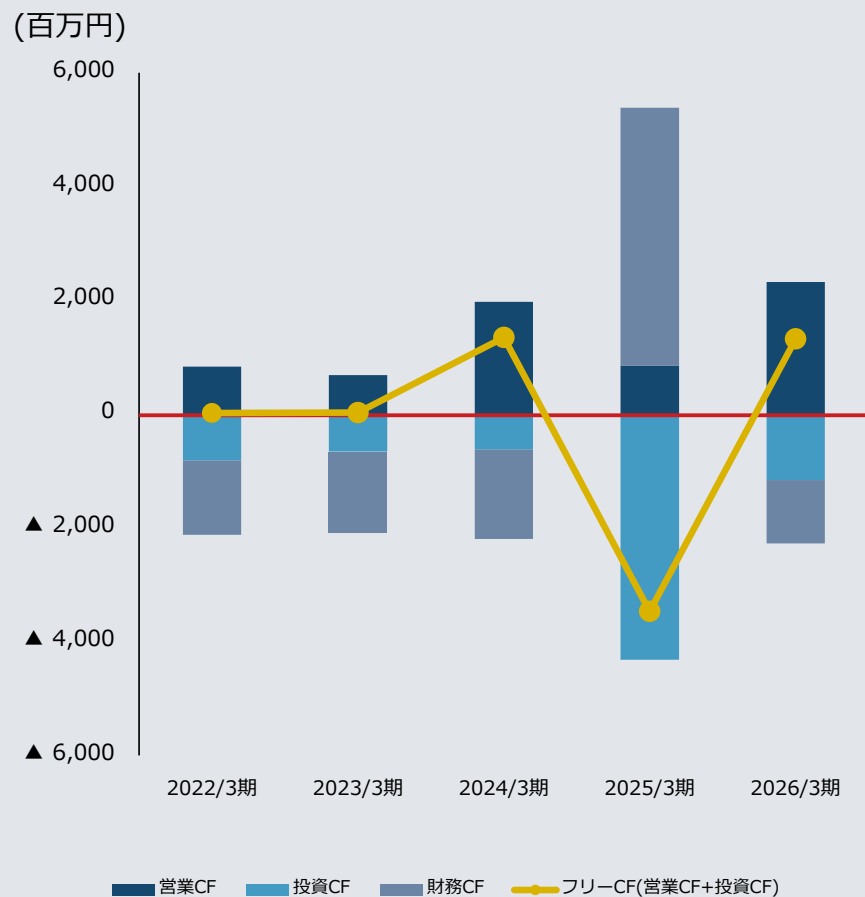
# 事業部門別売上収益増減

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

(百万円)



# キャッシュ・フロー計算書増減要因



## 営業キャッシュフロー

(百万円)  
**+2,319**

税引前利益	+2,313
減価償却費及び償却費	+805
運転資本の改善	▲23
一過性の要因 (負ののれん発生益)	▲466
法人税等	▲405
その他	+95

## 投資キャッシュフロー

**▲1,156**

M&A関連投資	▲785
設備・レンタル投資	▲1,146
投資回収等	+775

## 財務キャッシュフロー

**▲1,115**

借入金の純増減	▲155
株主還元 (配当+自己株)	▲739
その他	▲221



Chapter 03

# 2027年3月期 業績見通し

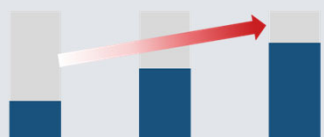
---

# 仮設資材を取り巻く環境と今後のニーズ

リフォーム需要、安全意識の高まり、技能者不足は追い風環境

## 環境変化

住宅や社会資本※の老朽化



建設現場の人材不足

技能を持った  
職人の減少



法改正・安全衛生規則の改正

## 想定されるニーズ

維持修繕工事  
需要が増加

より安全に配慮した  
足場の需要が増加

省人化・  
組立の容易化の需要が  
増加

## 信和の強み

高品質で  
安全性・施工性の高い  
システム足場

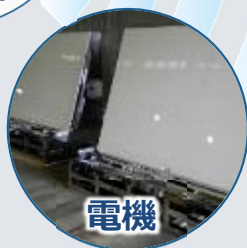
社会のニーズに  
迅速に応える商品開発

製造から施工まで  
一貫したサービスを提供

※道路、港湾、水道、公園、通信、空港、ダムなど、国や自治体などの公的機関によって形成されてきた社会資本の量

# 物流機器部門の注力分野

従来業種への深耕と、技術・ノウハウを生かして新分野への進出を図る



## 省人化分野

AGV(無人搬送機器)などの取扱・コンサル事業へ参入。倉庫業務の省人化ニーズを捉える。



## 海外展開

海外への物流機器納入実績を活かし、さらなる製品・サービス提供体制を整える。

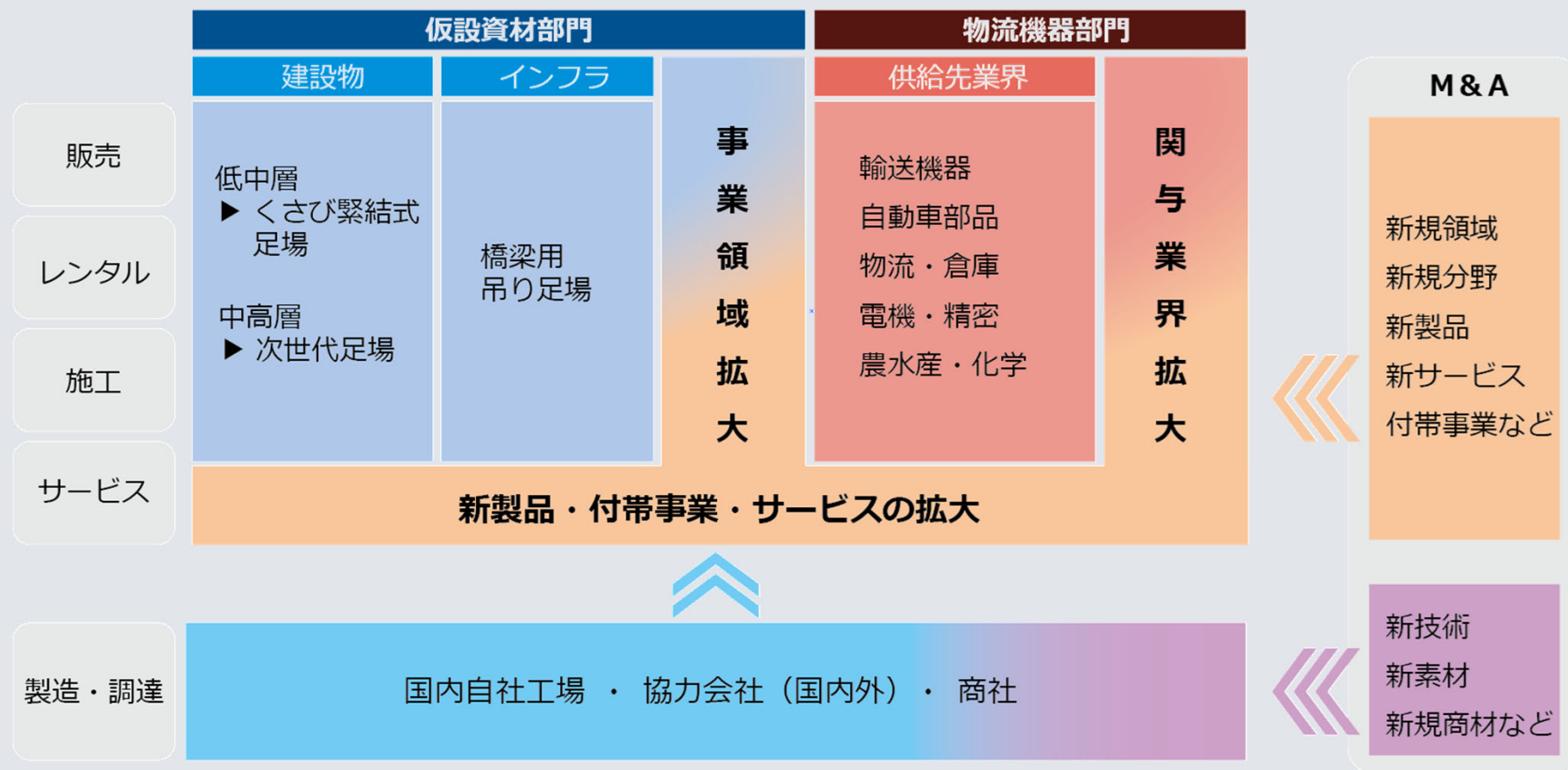


## 未経験業界への積極的な挑戦

特殊な物品等の輸送・保管ニーズを見だし、新たな価値提供を通じて、事業領域を広げ続ける。

# 信和グループの成長戦略

グループ内リソースの活用とM&Aにより、事業領域・サービスを積極的に拡大する



# 2027年3月期 通期連結業績予想

2027年3月期の売上収益、営業利益、税引前当期利益は、いずれも過去最高を更新する見通し。  
2026年3月期に計上した一過性の要因を除くと、営業利益は+10.9%増。

(IFRS・百万円)

	2024/3月期		2025/3月期		2026/3月期		2027/3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	予想	売上比	前期比	増減率
売上収益	12,678		17,503		20,138		<b>22,000</b>		<b>+1,861</b>	<b>+9.2%</b>
営業利益	700	5.5%	1,622	9.3%	2,488	12.4%	<b>2,520</b>	<b>11.5%</b>	<b>+31</b>	<b>+1.3%</b>
一過性除く営業利益					2,272	11.3%	<b>2,520</b>	<b>11.5%</b>	<b>+248</b>	<b>+10.9%</b>
税引前利益	652	5.1%	1,498	8.6%	2,313	11.5%	<b>2,360</b>	<b>10.7%</b>	<b>+46</b>	<b>+2.0%</b>
親会社の所有者に 帰属する当期利益	409	3.2%	975	5.6%	1,718	8.5%	<b>1,600</b>	<b>7.3%</b>	<b>(注)▲118</b>	<b>▲6.9%</b>
基本的1株当たり 当期利益(円)	29.46		71.17		126.24		<b>117.55</b>		-	
1株当たり 年間配当金(円)	32.0		32.0		34.0		<b>36.0</b>		-	

2円増配

2円増配

(注) 前期に計上した一時的な利益の反動による影響。  
本業の収益は向上傾向。

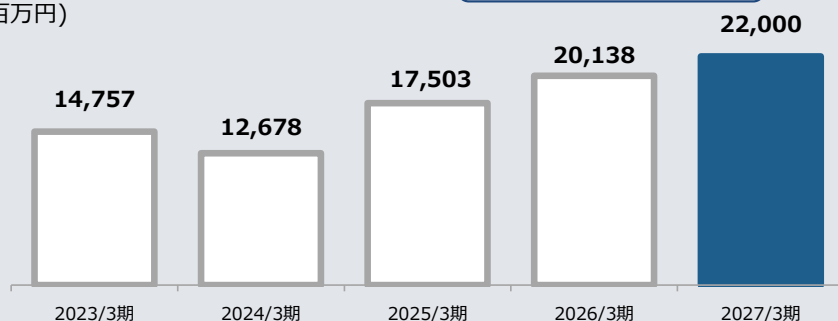
# 売上成長と高収益体質の両立を継続

売上収益220億円・営業利益25億2千万円を計画。

## 売上実績と当期見通し

(百万円)

上場来最高更新



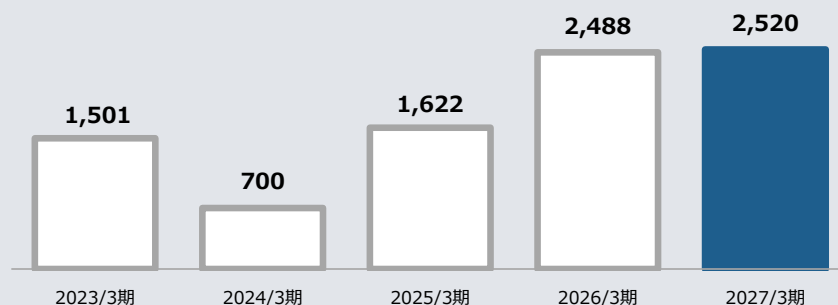
- グループ連携強化による成長加速  
新規連結会社の収益寄与が通期で反映されることに加え、製造・販売・施工を横断した連携強化により、グループシナジーを最大化。

- 仮設資材部門は施工・レンタル領域が拡大  
「所有から利用へ」の需要シフトを背景に、販売・レンタルを組み合わせた提案を強化。施工・レンタル領域を中心に需要を取り込み、安定成長を継続。

## 営業利益と当期見通し

(百万円)

上場来最高更新



- 物流機器部門は高付加価値提案を強化  
物流効率化・省人化ニーズを背景に、高機能・高付加価値提案を強化。大型案件に加え、多様な業界からの受注拡大を推進。

- 売上成長と収益性向上を伴う成長を継続  
高付加価値化・グループ連携・コスト最適化を通じて、本業ベースの収益力向上が継続。売上収益・営業利益・税引前利益は過去最高を更新見込み。



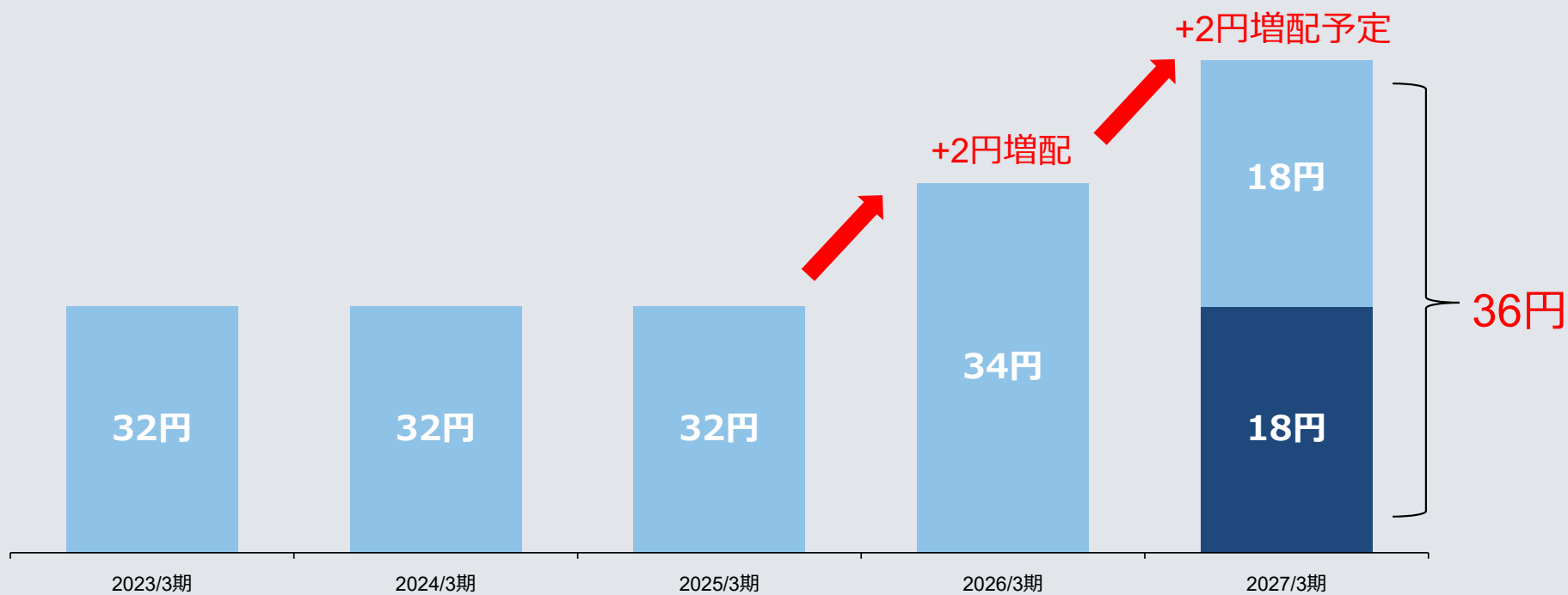
Chapter 04

# 株主還元

---

# 配当予想

1株当たり配当金は、中間配当を+2.0円増配し、18.0円とする予定。  
これにより、期末配当18.0円とあわせた年間配当金は1株当たり36.0円となる見込みであり、累進配当を継続。



# 株主優待制度の変更

2025年11月6日に公表した株主優待制度の変更内容について、2026年9月30日現在の株主名簿記載分より適用開始。中長期保有株主の拡大および投資魅力向上を推進。

(1P≒1円)

保有株式数(株)	進呈ポイント数			
	初年度 (P)	長期保有特典		
		1年以上 3年未満 継続保有(P)	3年以上 5年未満 継続保有(P)	5年以上 継続保有(P)
1,000~1,499	5,000	5,500	同左	同左
1,500~1,999	<u>15,000</u>	<u>16,500</u>	同左	同左
<u>2,000~2,499</u>	<u>22,000</u>	<u>24,000</u>	同左	同左
<u>2,500~2,999</u>	<u>28,000</u>	<u>31,000</u>	<u>35,000</u>	<u>40,000</u>
<u>3,000以上</u>	<u>35,000</u>	<u>40,000</u>	<u>45,000</u>	<u>50,000</u>

(株)・・・株数 (P)・・・ポイント

株主優待ポイント：株式会社ウィルズが運営する「プレミアム優待倶楽部」に掲載された5,000種類以上の優待商品の中から、ポイント数に応じて交換可能。

長期保有特典：2023年以降、毎年9月末日の株主名簿に、同一株主番号で連続2回以上かつ継続して1,000株以上お持ちの株主様として記載された方を対象といたします。

## 注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

## 信和株式会社

岐阜県海津市平田町仏師川30-7

部 署 — 経営企画部

T E L — 0584-66-4436

e-mail — [ir@shinwa-jp.com](mailto:ir@shinwa-jp.com)